

北陸農政局長賞受賞

～ 芝桜の郷 新屋敷 ～

あらやしきちく のうそんかんきょうほぜんこうじょうすいしんきょうぎかい
受賞者 **新屋敷地区農村環境保全向上推進協議会**

(富山県^{となみし}砺波市)

■ 地域の概要

「新屋敷地区農村環境保全向上推進協議会」が属する新屋敷地区は、富山県砺波市中央部に位置し、カイニョと呼ばれる美しい屋敷林に囲まれた家々が点在する平地農村地域である。



位置図

■ 主なむらづくりの内容

本地区は、高齢化に伴う農業の担い手が減少する一方で、新興住宅が建ち混住化が進展しているほか、一級河川「^{がんどがわ}岸渡川」が地区を二分していること

から、農地や農業用水を守る地域のまとまりが弱くなりつつあったため、平成19年に本協議会を設立し、景観や環境の維持保全活動を行うことで、地域全体の活性化を図っている。

地区の中央を流れている岸渡川の管理では、農家・非農家・高齢者の共同活動により芝桜を植栽し、景観形成とともに維持管理の低減を図っている。現在は、隣接集落も含めた約800mにピンクの回廊空間が完成し、芝桜まつり等を通じ、県内外から多くの観光客が来訪している。

平成20年には、「農事組合法人新屋敷営農組合」を設立し、協議会活動の農業基盤面を強化している。タマネギやニンジンが学校給食に提供し児童への学習会を実施しているほか、女性力を活かし、葉ボタンの生産を始めている。このように、市が進める景観まちづくりの観点から「集落の活性化」、「庄川と散居が織りなす花と緑のまち」の実現に向け、様々な取り組みを実施している。



写真1 岸渡川の芝桜



写真2 新屋敷芝桜まつり



写真3 新屋敷営農組合